

第18回文京区看護職交流会 事後アンケート取りまとめ結果

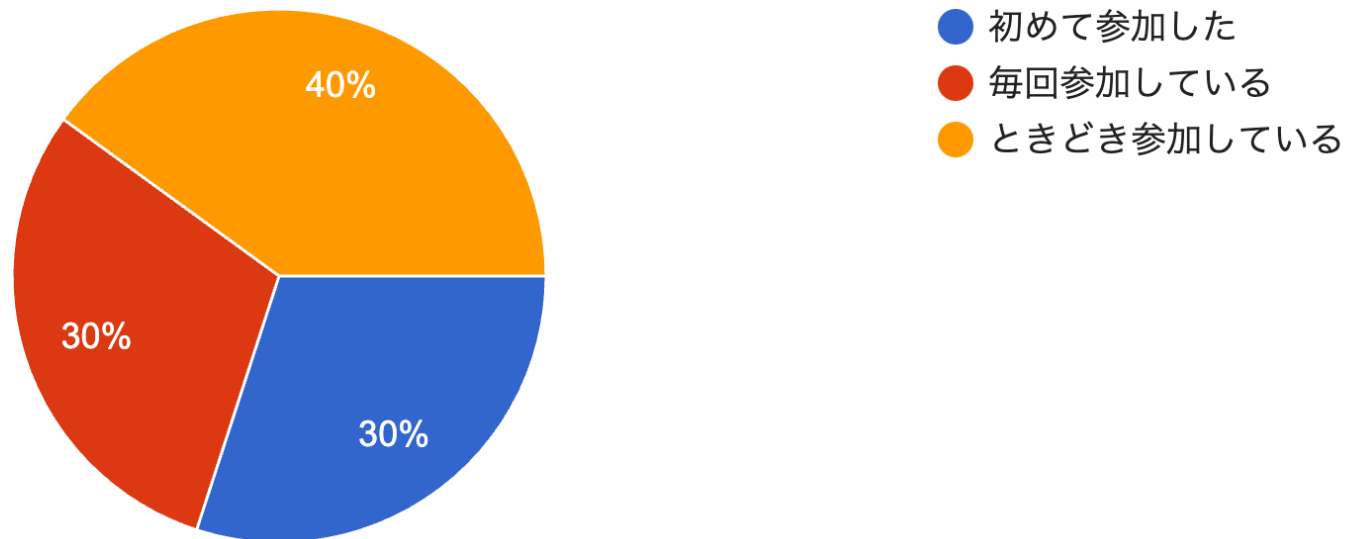
実施概要

- 開催日時：2024年10月7日（月） 18：30～20：10
- 場所：区民センター3階会議室

- 申込者：79名 →当日欠席3名、当日参加5名
- 出席者：81名
- アンケート回答者数：30名（回収率 37%）

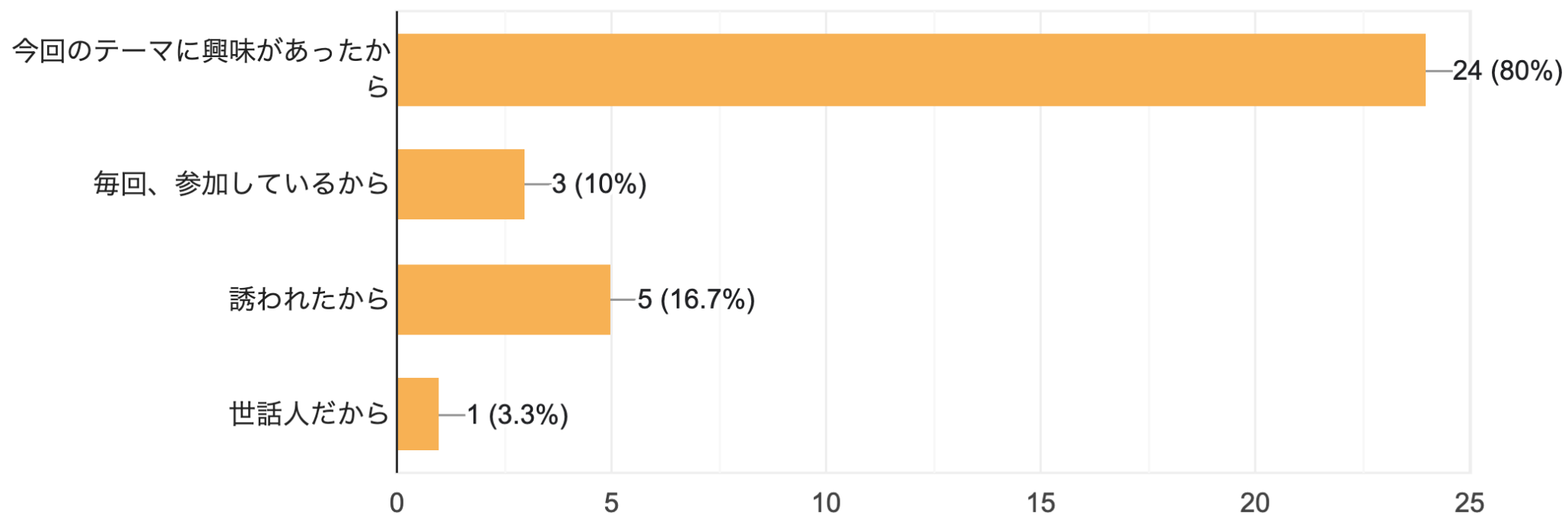
1. 今回の参加は何回目ですか？ご参加の頻度についてお尋ねします。

30件の回答



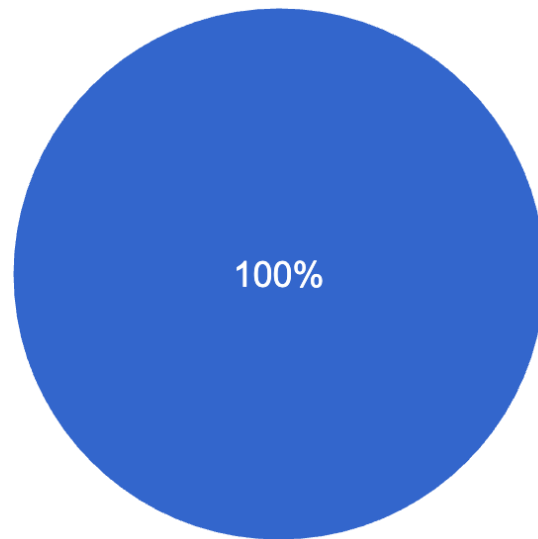
2.今回、なぜ参加しようと思われましたか？（複数選択可）

30件の回答



3. 今日の講演は今後のあなたに生かせそうですか？

30 件の回答

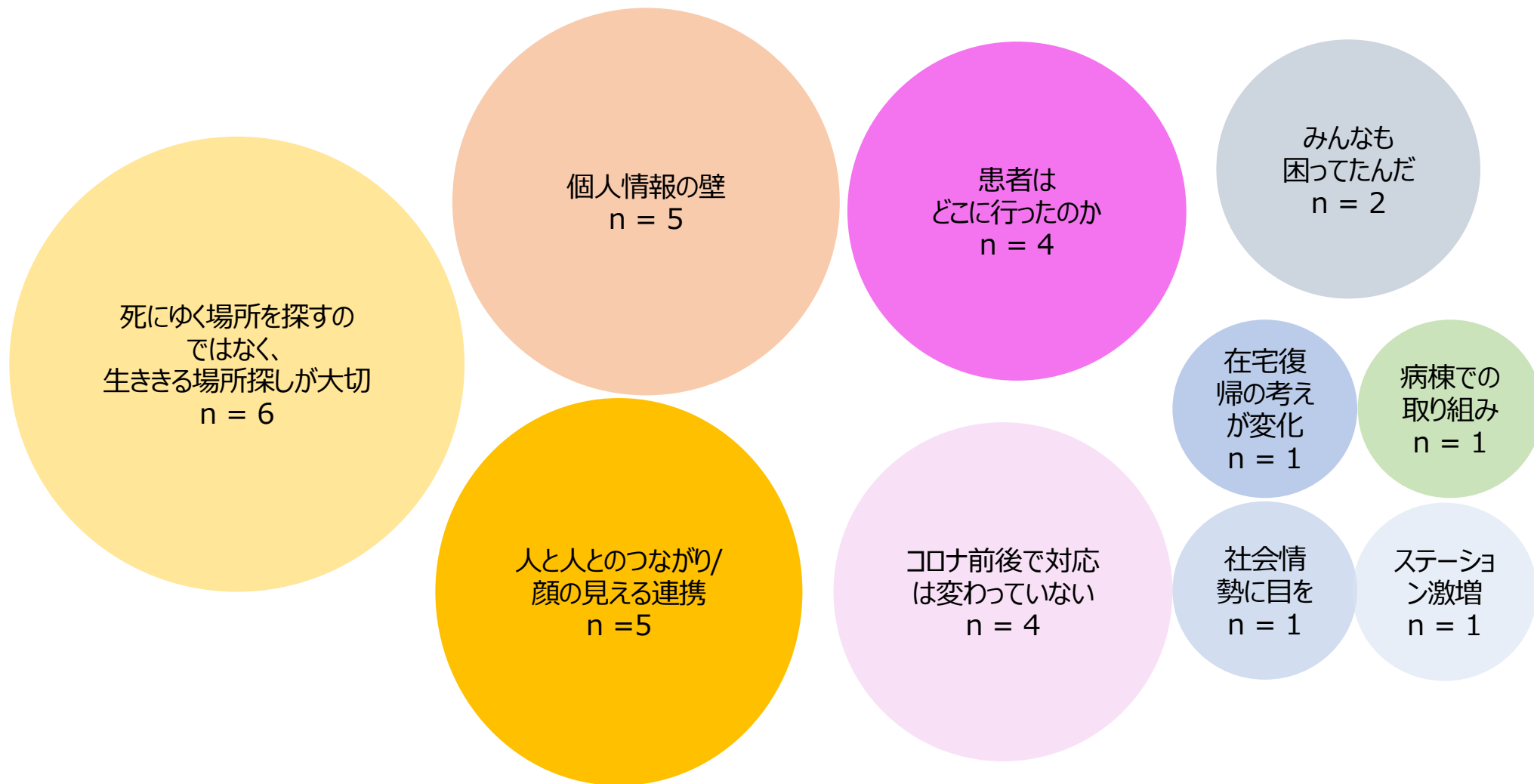


- はい
- いいえ
- どちらでもない

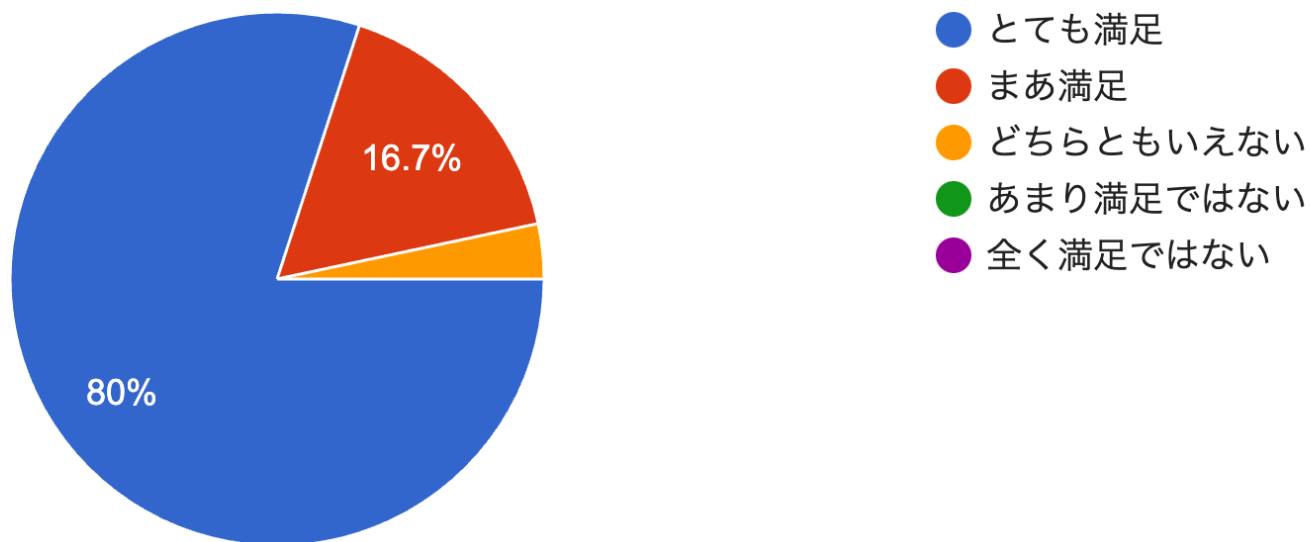
4. 講演の感想 (まとめ)

他職種連携、顔の見える繋がり、本当にそうだと思う内容、共感できました
タイトルに興味深かったので、参加しました。地域ではこんな現状があるんだと驚くことが多く、大変勉強になりました。ありがとうございました。
個人情報共有の困難さ、多方面での課題に見え隠れる医療連携の意義と取扱方法の不透明さについて、恐らく氷山の一角ですが少し理解することができました。ありがとうございました。
それぞれのお立場からのご講演で楽しみながら拝聴しました。データを示していただくことで、最近の動向も知ることができ、勉強になりました。
様々な分野からのお話が聞けて勉強させていただきました。
連携するための工夫や努力、相手(関係機関)への気配りと尊重、風通しのよい関係づくりなど、各々の講師の方の取り組みを伺うことができ参考になりました。
地域で在宅療養を支える皆様と直接お会いでき、お話しできる機会はとても嬉しいです。今回病院看護師さんも多くいらしていたので、病院としての意見も聞けてとても良かったです。運営ご担当者の皆様・講師の先生、日々ご多忙の中、ご準備・発表ありがとうございました。
実績やデータと紐付けて、先生方が日々の業務の中で、考え、感じたことを拝聴でき、とても勉強になりました。ありがとうございました。
病院の地域連携の方、ケアマネさん、訪看さんそれぞれの現状知ることができました。
今の病院の現状もわかり、具体例もわかりやすかったですし、東京都や文京区の現状を知り、ニーズを知れて、普段目の前のケアの事だったり利用者様対応で精一杯な私にとっても勉強になりました。
患者さん・利用者さん・地域など様々なニーズに合わせた取り組みができるよう日々取り組まれていることが改めてわかりました
それぞれの立場からの困り事が聞けて良かったです。利用者が安心して在宅生活を継続して行く為に私達は顔の見える連携が如何に大切かを新ためて深く感じる事が出来ました。
様々な立場、角度からのお話を聴くことができ、大学院がどのように地域と繋がられているのか、ケアマネさんや訪問看護ステーションの所長さんがどのような事を感じ、考えられているのかを知ることができて、大変学びになりました。
大学院、訪看とそれぞれの立場からの経験や考え方を聞かせて下さり勉強になりました
自分の事業所や他セクションの話が聞けて、現状把握ができた。また、データと現状の違いには疑問点も残りますが…。
直江先生のご講演は、多くのデータを駆使して問題を明らかにしたいという思いが伝わって来て、非常にわかりやすく面白い内容でした。
高梨先生のご講演は、東大病院がコロナ禍でも、頑張っていたのがよく伝わりました。在宅復帰率はさすがですが、それが自宅から自宅に準ずる老人施設が混じっているか知りかったです。関根先生のご講演では、転院を繰り返すと所在がわからなくなるという点が、驚きで問題だと知りました。
どの講演もわかりやすく、事例なども通常業務に反映させる事が出来る内容で、良かったです。
高梨先生の言葉で「困難な調整の中、在宅でどう生きるのか」という言葉が響きました。関根先生は、個人情報の壁問題は、よくあるので共感してしまいました。
直江先生、医療依存度が高くなり、介護者の負担が大きくなっている。訪問看護が、少しでも安心してもらえる存在になりたい、という気持ちが良かったです。
①東京大学附属病院の取り組みについて組織、理念等教えていただき、非常に勉強になりました。医療連携室を通さない連携への課題については全ての医療機関の課題であると思います。医療点数により適切に収入に加算されるシステムの構築は重要です。また、地域看護職のテーマが続き、医療機関の参加の少ない会が続きました。医療機関から見た地域連携の可能性を教えてくださいました貴重な機会でした。②ケアマネジャーの立場からの連携課題として入院した医療機関が個人情報保護を理由に担当ケアマネに対して情報提供を拒むとは！！事実を知って驚きました。ケアマネジャーの方には、介護保険において非常にお世話になっております。ご本人が在宅で希望する生活を送るために、執事のような役割をされています。在宅でサービスが必要とされる区民の知恵袋。地域の看護職と交流していただき、良き看護の提供のハブになって頂けると感じました。訪問看護事業者との交流の必要性を感じました。③統計を通じ、地域に退院される患者が少なくないことを説明いただきました。非常に理論的な構成で、厚生労働省の技官説明を聞いているのかと錯覚しました。素晴らしいです。同様に貴訪問看護ステーションで提供されるケアについてもいつか報告を頂きたいと思います。今後とも是非、交流会に関わり続けていただきたいという熱いメッセージで御礼の言葉に代えさせていただきます。
病院のなかでも、ラダー教育や、病棟を回ったり努力されていることがよくわかった。
ケアマネさんも、家族関係のもつれなどある中、信頼関係を利用者さんと構築して頑張っておられることが良く伝わってきた。訪問看護師さんの講演は、非常に聞きやすく、文京区の状況がみえて良かった。講演では、患者さんがどこへいったについては明確な答えは絞れずとも色々な人と話ができつながりをつくれたことが良かった。
医療機関の施設基準から求められる在宅復帰率は実情と合っていないように感じます。
入院時情報提供書がその後の連携において有効に活用されていない可能性があることは、病院側の課題だと感じました。また、ターミナル患者の在宅退院が減少している、在宅看取りが減少しているということを知り、驚きとともにとても勉強になりました。
大学院、CM、訪看 それぞれからわかることを知れてとても参考になりました。
皆さん、それぞれの視点からのお話で、大変勉強になる内容でした
すべての先生の講演が、とても自分の現場意識と合致して、元気をもらえた。
3者三様、それぞれのお立場での実践の報告に今の退院をめぐる実情に考えさせられました。

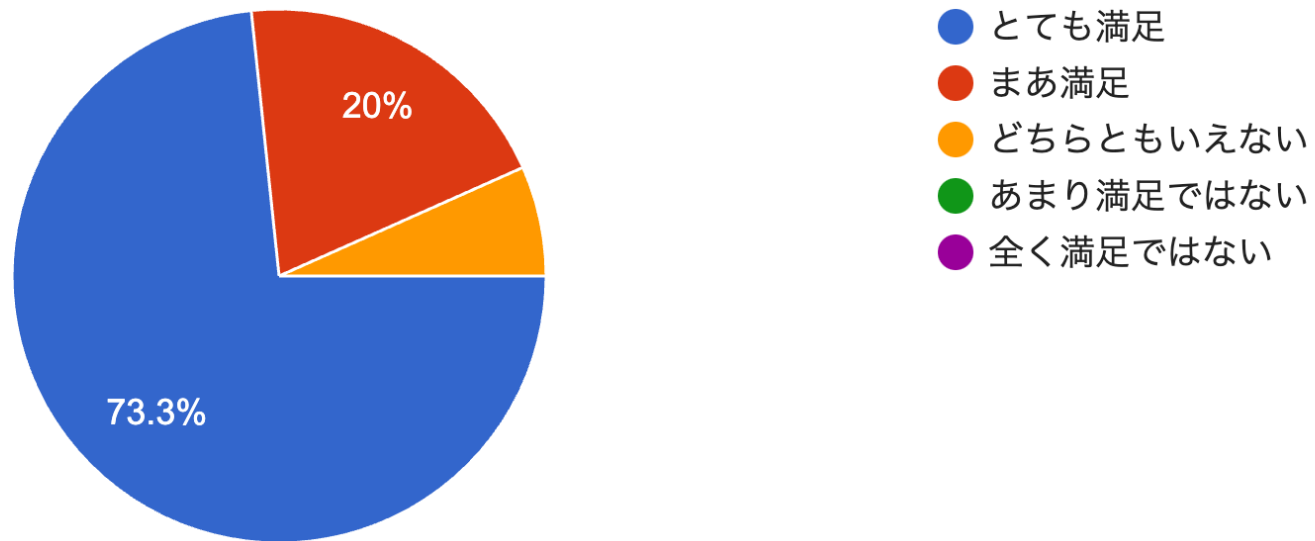
5. 講演で印象に残った言葉（まとめ）



6.本日の内容についてお尋ねします。第一部（各講師からの講演）の満足度を教えてください
30件の回答

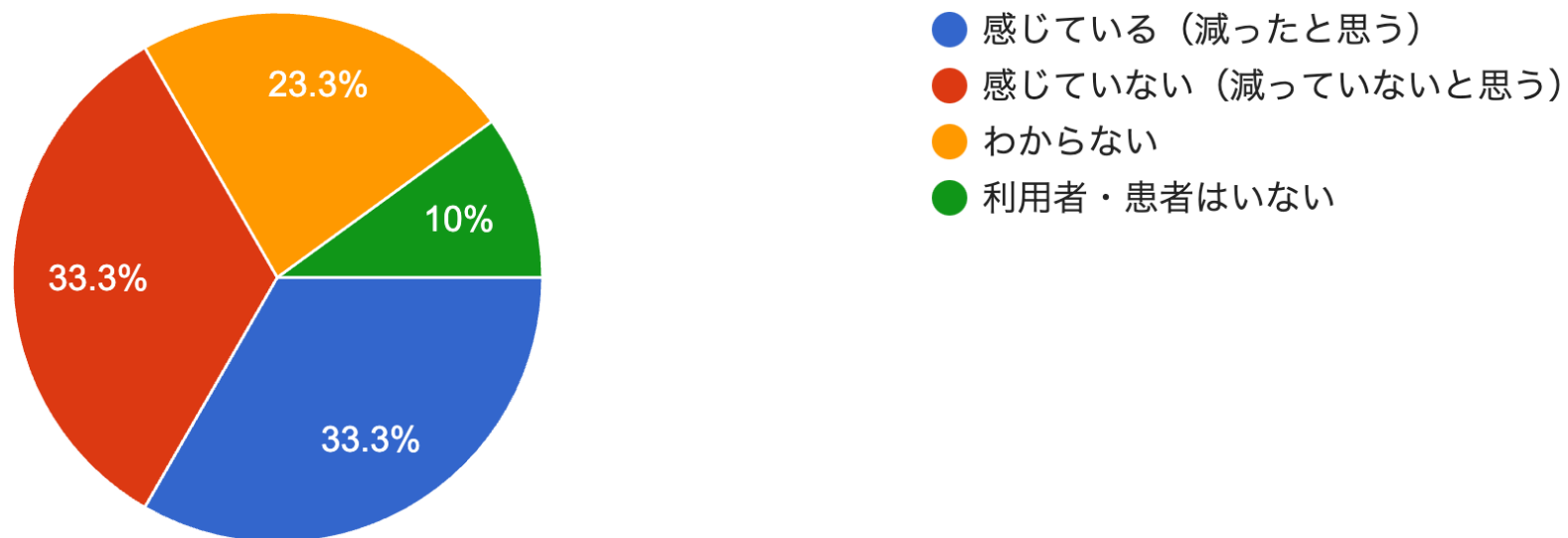


7.本日の内容についてお尋ねします。第二部（グループディスカッション）の満足度を教えてください
30件の回答



8.あなたの所属する事業所等において、最近、利用者・患者数が減ってきたと感じていますか？

30件の回答



8. 今後取り上げてほしいテーマおよびご意見等（まとめ）

ゆりかごから墓場 までの支援

社会的処方

ACP

区の子ども・子育て
支援の現状と課題

高齢者や障害者が最後まで
暮らすために看護師ができること

介護者合同企画

訪問看護師×家族介護者
の語り

利用者の満足度評価

ケア提供者側 への支援

地域で働いて？

会の開催のあり方

訪問診療医を交えた
勉強会の開催

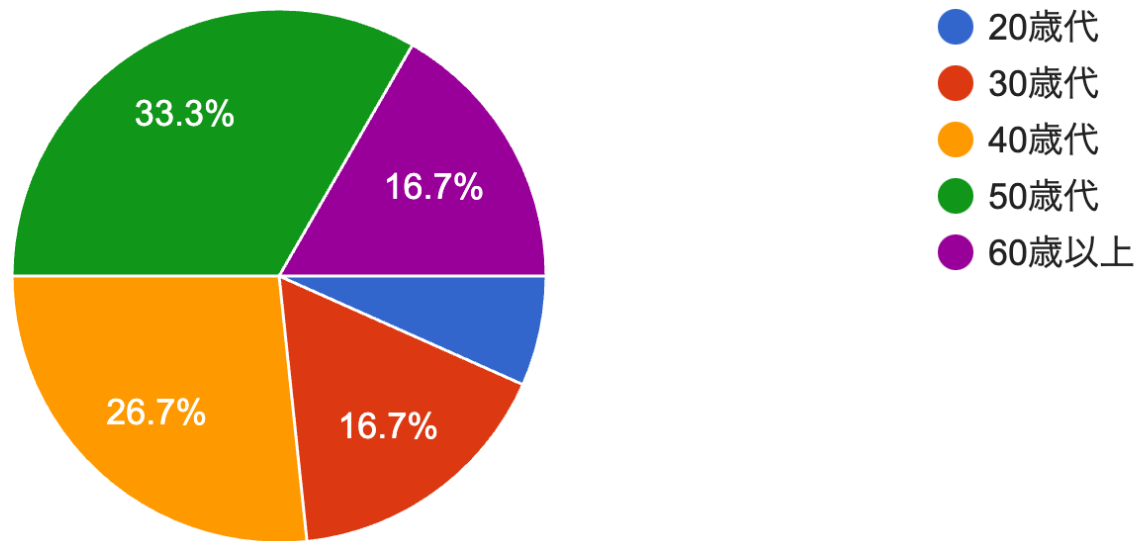
もっと多様な事業所
からの参加を

ポジティブな気持ちに
なれるディスカッション

オンラインでも参加で
きる仕組み

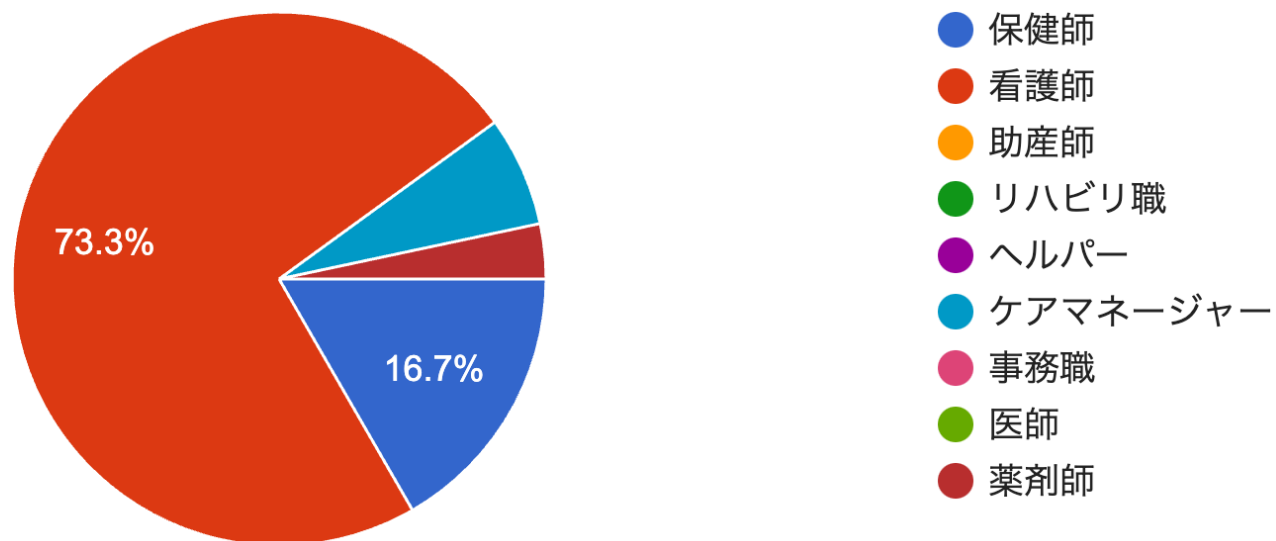
9.あなたのご年齢を教えてください

30件の回答



10.職種を教えてください（現在、主として従事している職種をお答えください）

30件の回答



11.ご所属先を教えてください

30件の回答

